

# 群馬県立女子大学 FLRI Newsletter

## Foreign Language Research Institute

# 外国語教育研究所だより

Vol.35 2019.10.25

### 新規事業 企業向け英語研修

県内の企業向けに海外事業展開支援としてビジネス英語研修をスタートしました。

本年度は、グローバルに事業を展開している、サンデンホールディングス株式会社及び共和産業株式会社の2社で研修を実施しました。英語に慣れ親しむ活動から始まり、電話でのやりとり、ビジネスメールの作成法、スピーキング力のブラッシュアップなど、各社のニーズに応じたレッスンを行いました。グループでの指導が中心で、参加者全員が積極的に言語活動に参加することで、楽しみながら学んでいるようでした。



サンデンホールディングス 新人研修



共和産業株式会社 英語研修

### グローバル人材育成事業「明石塾」18期生

入塾式 8月3日

18期生21名の塾生の入塾式が、小林学長、中田事務局長、そして多くの保護者立ち会いのもとで、厳粛に行われました。塾長である小林学長から、「創始者である明石康先生のように広い視野をもち、堂々と世界に飛び立ってほしい。塾生同士の絆を大切に、道を切り開いて進んでください」と祝辞を頂きました。式の最後に、塾生を代表して中央中等教育学校の関上太郎さんが、「一人一人が塾生としての誇りを胸に、明石塾が目指す国際的に活躍できる人材となる努力をすべく、全てのプログラムに全力で取り組むことを誓います」と決意を述べました。



代表挨拶をする関上太郎さん（中央中等教育学校）



オリエンテーションでの塾生たち

日付	午前の部	午後の部
8月5日(月)	・英語研修1、2	講義①芸能から見る「海のアジア」 武藤 大祐 准教授 (文学部美学美術史学科)
8月6日(火)	・英語研修3、4	講義②Life in the City M.R.フライヤーミュージス教授 (国際コミュニケーション学部)
8月7日(水)	・英語研修5、6	講義③群馬県紹介 松浦 利隆 教授 (群馬学センター)
8月8日(木)	・英語研修7、8	講義④世界の貧困問題に挑む -開発経済入門- 布田 朝子 准教授 (国際コミュニケーション学部)
8月9日(金)	・英語研修9、10	講義⑤外国語としての古典 富岡 宏太 講師 (文学部国文学科)
8月10日(土)	・英語研修11、12	講義⑥第二言語習得論：外国語学習の科学的アプローチ 飯村 英樹 准教授 (文学部英米文化学科)
8月22日(木)	・県内フィールドワーク (サンデン・ホールディングス)	
9月7日(土)	・英語研修13、14 (公開授業)	夏休み研修まとめ テーマ討論①「コミュニケーションについて」
9月28日(土)	・東京フィールドワーク (グローバルフェスタ・東京ジャーミイ)	

講義の感想（塾生のレポート抜粋）

芸能から見る「海のアジア」

グローバル人材を目指す私たちにとって、他の地域の文化や芸能の価値を理解することが必要不可欠だ。世界の広さや深さを改めて感じ、自分がどれだけ小さな世界を見ていたか痛感した。自分の視野が一気に広がり、違った視点から世界が見られるようになった。



Life in the City

学校の授業では経験したことのないアクティビティでした。英語を使って仲間と話を進めるなかで、「町づくり」についてより深い理解が得られました。仲間との協働ではたくさんの気づきがあり、とても楽しい授業でした。

世界の貧困問題に挑む - 開発経済入門 -

「支援をする際には、需要と供給の両方を理解するべき」という先生の言葉が印象的でした。支援先が何を求めているのか、支援する側はどこまで介入すべきなのか、両方をよく考える必要があるということがよく分かりました。支援活動の在り方を改めて考えられました。



群馬県紹介

群馬県について知らないことが多すぎると気づいた。自然地理、人文地理、歴史について学ぶ中で、山がちで火山が多い自然地理的要素が、人文現象にも影響を与えていることが興味深い。日本の富国を支えた絹遺産や重工業等、群馬を誇りをもって海外の人に伝えたい。

外国語としての古典

古典語には疑問否定を用いた誘いの表現がないということに興味をもちました。言葉というのは常に時代や文化、人々の暮らしの変化を伴っていて、その変化における相違こそ、日本語と外国語の違いと同じだと私は感じました。

第二言語習得論：外国語学習の科学的アプローチ

自分が将来勉強したい学びと一致している講義でした。第二言語習得論と聞いて、言語学のイメージしかなかったが、心理学的な考え方も使われると知り、様々な分野の知識が必要な学際的な学問だと分かりました。

県内フィールドワーク 8月22日 サンデン ホールディングス訪問

塾生感想 1

単に製品生産を行うだけでなく、品質、環境を世界基準で視野に入れている会社の姿勢に感銘を受けました。自分が出て行く社会は、日本だけ、あるいはある分野だけのものではなく、多様に広がりゆくものだと痛感しました。

塾生感想 2

5年間メキシコに駐在していた方の、余計なプライドを捨て郷に入っては郷に従え、という話は説得力がありました。サンデンが一番大切にしているのは“人”だと伺い、改めて言語学習の大切さを感じました。



県内フィールドワーク サンデンホールディングス

英語研修13・14（公開授業）World Population Growth 参加した保護者の感想



研修内容も、これから世界へ進出していく子供たちにとって重要でとても勉強になると感じました。流ちょうに英語を話すよりも、相手に伝えたいことが伝わるかどうか大切だと感じました。

レベルの高い講義に驚きました。塾生たちが積極的にディスカッションしている様子を間近でみて、彼らの将来が楽しみになりました。

講義内容：人口増加の要因や、世界の出生率についての基礎知識を得ながら、女性が教育を受けることの重要性や公衆衛生による世界の変化を表やグラフから考える。

## 留学支援事業

本学では、留学を希望する学生に対し、「留学支援プログラム」の活用を積極的に勧めています。短期海外研修参加者には上限 20 万円、長期留学者には上限 40 万の奨励金を支給することに加え、留学情報の提供及び留学手続きについての個別相談を行っています。その他、海外での危機管理や、病気・事故に遭った際の対処法などについて学ぶ研修も行っています。また、群馬県親善学生大使として、留学先で群馬の魅力をアピールするため、群馬について基礎知識を習得し、効果的にプレゼンテーションする方法を学ぶ機会も提供しています。



### 危機管理セミナー

5月29日に留学支援プログラムを利用する全ての学生を対象に、外部から講師を招き、海外危機管理セミナーを開催しました。健康管理面では、現地の水道水や市販の薬のに関する情報に加え、メンタルヘルスや感染症についての説明がありました。また、留学生にありがちな被害発生状況について、ケーススタディを通して未然防止策やトラブルに遭遇してしまった時の対応について学びました。

学生は海外安全のための基礎知識を身につけ、「自分の身は自分で守る」ことを基本に留学生活を送ることになります。

### 令和元年群馬県親善学生大使委嘱状交付式

7月17日に群馬県親善学生大使委嘱状交付式が行われました。小林学長はご自身の留学経験についても体験にも触れながら、「群馬の自然、文化、産業についてPRして、群馬と世界を結ぶ架け橋となってください。」とエールを送りました。学生代表の、国際コミュニケーション学部4年足立菜摘さんは、「留学先は多種多様な価値観や考えをもった人たちがたくさんいる。その人たちとの一つの交流が、自分自身を成長させると確信している。積極的に関わっていききたい。」と留学への意気込みを語りました。



### 留学帰国報告

長期留学 H30.8～R元.5 ミドルテネシー州立大学（アメリカ）

国際コミュニケーション学部4年 N.M

留学は「楽しかった」、の一言では言い切れないものとなりました。留学したての頃は、大学の授業では先生によっては聞き取りがとて難しく、何度も繰り返してもらいました。ホストブラザーのいわゆる若者英語も聞き取れず、そんな自分を不甲斐なく思い、精神的に苦しかったです。しかし徐々に耳が鍛えられていき、聞き取れるようになり、到底やりきれないだろうと思った膨大な量の課題もなんとかやりこなすことができ、リーディング力の向上も実感することができました。また、日本を外から見ることで、世界にアピールできる多くの日本の魅力、具体的には、繊細さ・謙虚さ・奥ゆかしさ等に気づき、誇りに思えるようになりました。自分らしさについても改めて考えるきっかけとなりました。「普通」の壁を打ち破り、個性を大切にしながら自分の将来を見据えていきたいです。



短期研修 R元.8 カプランインターナショナル（イギリス）

文学部総合教養学科3年 H.N

短期間ではありましたが、私にとっては大きな収穫につながりました。仲良くなった各国の留学生との交流を通して、みんなが日本のことをよく知っているのに対し、自分が相手の国のことを思いの外知らないことに気が付きました。また、世界が抱える問題について話し合うこともあり、異なる意見や考え方に接し、改めて人と人との交流の大切さを感じました。相手を理解しようとする事、「違い」を受け止めた上で相手を尊重することが、異文化理解にとって必須の条件であることを体験することができ、とても貴重な生きた経験となりました。わずかな海外生活でしたが、少し自分に自信が付いたような気がします。この経験を生かし、これからも世界中の色々な人との関わりを積極的にもちながら、成長していきたいと強く思っています。



## 高等学校連携英語授業

外国語研究員が講師となって、年3回の英語モデル授業を実施しています。英語を使って自分の考えなどを、段階を踏んで形成し、最終的に発表していくためのコミュニケーション活動重視の授業プランです。この活動を通して、相手を思いやる気持ちを育てていくとともに、「できる」・「言いたい」という主体的な学習につなげていきます。今年度は、伊勢崎高等学校、高崎経済大学附属高等学校、沼田女子高等学校と連携し、各校とも既に1回目を終了し、次回に向けて、生徒たちはマッピングの手法を使いながら意見を整理し、2回目の授業に備えています。

また各校のニーズにあった授業支援として、高崎女子高校のグローバル・リーダー養成ワークショップ、高崎高校のディベート講座へ外国語研究員を派遣しています。

高大連携英語教育事業についての詳しいお問い合わせは、研究所までご連絡下さい。



## 県民英会話サロン「グローバルカフェ」

第2期のグローバルカフェが10月から始まりました。小学生、中学生、高校生、県女生はもちろんのこと、他の大学の学生も参加しています。初めて参加される県民の方の数もぐっと増えました。毎回、身近なテーマに沿って、グループごとに会話を楽しめます。事前の予約は必要ありません。開催日に直接会場へ足をお運びください。ALTの方も大歓迎です。幅広い年齢層の方々と英語を通じた交流をお楽しみ下さい。

日 時：毎週木曜日（第2期 10月3日～12月19日 \*ただし10月31日はお休み）  
18時15分～19時45分（全11回）

場 所：群馬県立女子大学2号館6階ラウンジ

参加費：1回100円（高校生以下無料）

## 明石塾（第18期）公開のお知らせ

以下の日程で明石塾を公開します。

参加を希望される方は、群馬県立女子大学外国語教育研究所へメールにてお申し込み下さい。（[fri-one@gpwu.ac.jp](mailto:fri-one@gpwu.ac.jp)）  
尚、詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。

日 時：令和元年11月16日（土）

10時～12時

英語研修

12時45分～13時15分

塾生による活動報告

13時30分～15時30分

講義

講師：中島 淳二氏

株式会社リクルート北関東マーケティング代表取締役社長

演題：「未来をみつけよう！」

発 行：群馬県立女子大学外国語教育研究所

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

TEL：0270-65-8511(代) FAX：0270-65-9538 URL：<http://www.gpwu.ac.jp/>